第27号
No.27
GAKUYUKAI
令和元年7月12日発行

東北大学 学友会

学友会の活動・運営をお知らせする広報紙

題字：書道部　遠藤　俊太郎（平成23年度卒）

P.1 よりよい「居場所」が成長の糧	P.2 学友会所属団体紹介（体育部）	P.3 学友会所属団体紹介（文化部）	P.4 報道部特集・準加盟団体紹介
●体育部長　永富良一（医工学研究科 教授）	●ボディビル部 ●アーチェリー部 ●乗馬部	●演劇部 ●能楽部 ●邦楽部	●学友会報道部の記事を紹介します ●地学ゼミナール

よりよい「居場所」が成長の糧

体育部長　永富良一
（医工学研究科・教授）

新年度がスタートして4ヶ月が過ぎようとしています。皆さんは自分の「居場所」を見つけることができましたか？　私は、学友会体育部長を務める一方、全学教育のスポーツの授業を担当しています。また医工学研究科、医学系研究科の大学院生の指導をしています。共通の教育目標は自分のやりたいこと、目指すことを自分で見つけられるようになることです。隠されている正解を見つけるのではありません。たくさんある解の中から、それぞれにとってふさわしい解を見つけられるようになってほしいと考えています。ふさわしい解を見つけたところが皆さんの「居場所」です。

ふさわしい解を見つける前には、まず自分が何をわかっていないかを知る必要があります。サッカーが好きになれない人の中には、ボールを扱う技術を習得しても、ゲームの中で何をしてよいかがわからないからという人がいます。自分が果たす役割がわからないから楽しめません。ちょっとしたヒントで役割を考えられるようになると面白くなります。役割は自分一人で決まるものではありません。他のメンバーとの関係で相対的に決まります。研究も同様です。自分がどの分野の何にどのような興味があるのか。それはどこまで明らかにされているのか?それが見えてくると、どんな課題を解決すべきかがわかり、そこではじめて面白くなります。

自分の役割を理解するには、自分が地図の中のどこにいるかを理解する必要があります。大学の授業の役割の一つは個人の能力を高めるためですが、もう一つは自らが置かれた世界を知ること、あるいは世界を知るための考え方を学ぶことにあります。

いろいろな人との交流、意見交換、同じ目標に向かっての協働などを通じた方が、授業で得るよりもより深く世界を知ることができるでしょう。学友会での課外活動は、それが芸術活動であってもスポーツ活動であっても、今まで出会ったことのない仲間とお互いの役割を少しずつ理解し認め合い、自分達が求める共通の目標に向かって努力する貴重な場です。一緒に勝利に酔ったり、敗北に悔しがったり、時にはケンカをしたり、仲直りをしたり、一つ一つが大事な思い出とともに、皆さんが成長する糧になるでしょう。そんな「居場所」を是非つくってください。これから人生のステージ毎に居場所探しが繰り返されます。より多くの出会いが皆さんにとってより豊かな居場所を約束するでしょう。

最後に、夢を大きく持ってください。スポーツでいえば、来年のオリンピック・パラリンピックは間に合わないでしょうが、いつかオリンピック・パラリンピックでメダルを目指そうと思えば実現するかもしれません。

学友会報道部が全ページを編集しています！

学友会　本学全ての学生・教職員が会員となり、サークル活動、大学祭、新入生歓迎行事、教職員スポーツ大会などに対する支援を行っています。

この広報紙は皆さまの学友会費により作製されています。

報道部特集

学友会報道部の記事を紹介します

報道部が毎月発行している「東北大学新聞」には、多くの記事が掲載されています。今回は、たくさんある記事のほんの一部を紹介します。興味がわいた方はぜひ東北大学新聞を手に取ってください。

[特別インタビュー]
著名人にインタビューし、その素顔に迫ります。これまで、東北大学出身の作家や、仙台市長などに取材してきました。

[突撃!隣のとんぺー生]
大学生活をしていても、他の学生がどんな日常を過ごしているのか、案外知らないものです。「突撃!隣のとんぺー生」は身近な東北大生に研究や部活動など、日々の生活について伺う連載記事です。あなたの知っているとんぺー生が紹介されるかも!?

[ネタ記事]
報道部員が自ら考えた企画に取り組む様を紹介します。仙台名物をおかずにお米を一升食べてみたり、部員総出で二人羽織大会をしてみたり、少々はっちゃけた企画もあります。どんな企画に対しても全力で取り組む報道部員の姿を楽しんでください。

準加盟団体紹介

地学ゼミナール

私達は「東北大学地学ゼミナール」です。名前こそ固いですが、文系理系問わず、皆和気あいあいと活動しています。

活動内容は名前の通り、地学に関わる全般の活動を行っています。現在のメインの活動は化石や鉱物の採集、地質及び地理巡検です。

大学祭では例年、標本の展示を中心に地球科学の普及活動を行っています。興味を持たれた方はぜひ11月の大学祭でご覧ください。

学友会費納入のお願い　学友会は皆さんの会費で支えられていますので、学友会費の納入にご協力をお願いします。

問い合わせ先　022−795−3983（活動支援係：教育・学生総合支援センター1階2番窓口）

東北大学 学友会 No.27

学友会ホームページ：
トップページから「教育・学生支援」→「学友会・サークル」の順にリンクをたどってください。

TOHOKU UNIVERSITY

学友会所属団体紹介

学友会に所属する団体の活動やアピールを紹介します。

体育部

本学は今年も七大戦を制しましたが、七大戦がない競技でも
活躍している団体が多くあります！

ボディビル部

ボディビル部では部員が各自の生活スタイルに合わせて日々トレーニングしています。各部員は自分のニーズに合わせた頻度や内容で練習を行なっており、のびのびと活動しています。

毎年パワーリフティング選手権大会へ出場し結果を残しています。近年では自らの肉体を披露するボディビル選手権大会にも出場するようになりました。これからも結果を残していけるよう頑張ります。

アーチェリー部

我々学友会アーチェリー部は1年生16人、二年生17人、三年生18人の計51人で構成されています。活動場所は川内北キャンパスのバレーボールコートです。

部全体の目標はズバリ、七大戦優勝！です。昨年は惜しくも2位という結果に終わってしまいましたが、今年こそは目標達成のために毎日部員同士、切磋琢磨しながら練習に励んでいます。

皆さん応援よろしくお願いします！

乗馬部

乗馬部では、馬を調教し、人馬一体を目指して馬術を磨いています。目標は全日本学生馬術大会に出場することです。主に取り組んでいるのは、ハードルのような障害物を馬に跳ばせる「障害馬術」と、蹄跡という決められた敷地の中で、動作の美しさを競う「馬場馬術」です。

馬術は、他のスポーツとは異なり、選手自身のパワーやスピードよりも、騎手の技能や知識、感覚が必要になってきます。馬を調教しながら、自分自身の技能や感覚も磨いています。

文化部

学友会には、魅力的な活動を行っている団体が数多くあります。
ここでは演劇部、能楽部、邦楽部を紹介します。

演劇部

演劇部は、4月の新歓公演、8月の新人公演、11月の学祭公演、12～2月の卒業公演を中心に、年4～5回の公演を川内ホール104号室で行っています。部員は60名を超えていますが、どの公演に参加するかは自由なので、各々のペースで演劇と関わっています。

次回公演は8月の新人公演です。TwitterやWebサイトで情報を公開していきますので、興味がある方は是非お越しください。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

能楽部

能楽部は「楽しく本格的に」をモットーに、仕舞・謡・小鼓のお稽古をしています。

毎年9月の3年生による能「経政」をはじめとして、社中会や部の自演会、仙台市内の発表会など様々な舞台を通して社会人の方や他大学の学生と交流し、新しいことを学び続けていくのが何よりの楽しみです。

伊達政宗公も愛した能を、この仙台でこれからも舞い続けていきたいと思います。

邦楽部

今年6月の三曲発表会は節目の第50回となりましたが、和楽器演奏者の減少が進む中、東北大邦楽部のみならず、邦楽業界全体における未来をも活気づけられるような活動をこれからも出来たらと考えています。

次の演奏会は11月16日萩ホールでの開催を予定しています。入場無料ですのでお時間がありましたらぜひお越しください。